

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0417	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	
総合計画	分野	行政経営				
	政策	5-1	効率的・効果的な行政運営			
	施策	4	行政評価の活用			
目的	まち・ひと・しごと創生戦略に基づき、人口減少対策及び地域活性化の課題に対応していくための中期的な総合戦略及び人口ビジョンを策定する。					
対象	市民・地域					
意図	総合戦略及び人口ビジョンが平成27年度中に策定されている。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>1 人口動態、産業構造等に関する調査 人口ビジョンと総合戦略の策定にあたり、人口構造、自然増減、社会増減に係る現状及び将来見通しにかかる調査、人口動態を踏まえた、当該市町村における産業構造及び雇用の現状及び将来見通しに係る調査を行う。</p> <p>2 花巻市まち・ひと・しごと創生推進会議（仮称）の開催 総合戦略の素案策定にあたり、広く関係者の意見が反映されるよう地元住民代表や有識者で構成する推進組織（産官学金労）を設置する。</p> <p>3 市民説明会開催 総合戦略（素案）及び人口ビジョン（素案）の策定後、市民への説明と意見聴取を行うため、説明会を開催する。</p>						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 有識者会議開催回数	回		計画		6	
			実績		5	
② 市民説明会開催回数（4箇所）	回		計画		2	
			実績		2	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 総合戦略策定件数	件		目標		1	
			実績		1	
② 人口ビジョン策定件数	件		目標		1	
			実績		1	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成26年11月21日、「まち・ひと・しごと創生法案」及び「地域再生法の一部を改正する法律案」の地方創生関連2法案が可決、成立し、平成26年12月27日には同法に基づく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が定められ、併せて地域住民生活等緊急支援のための交付金（以下、交付金。）の取り扱いについても、具体的な内容が示された。 この中で、地方創生先行型の交付金において、総合戦略及び人口ビジョンの策定にかかる経費が確保された。総合戦略及び人口ビジョンの策定は、「人口減少の歯止め」及び「地方再生」に向けた明確な課題抽出と、これに対応する事業の体系化を行い、効果的かつ効率的に事業を推進する方針となるものであるため、本事業の成果指標として、「年度内に、総合戦略及び人口ビジョンが策定されること」を設定するものである。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	総合戦略及び人口ビジョンは市町村が策定するものであり、妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	人口減少対策にかかる課題抽出や実態把握を含め、現時点で市が保有していないデータが新たに取得でき、国の交付金を活用することのできるプランニングを進める事業であることから、成果の向上余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	国の交付金による事業であり、最低限の人員で戦略・ビジョン策定に必要な事業内容となっていることから、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	総合戦略及び人口ビジョンは、市の安定的な経営と地域の活性化につながる方針を立てるものであり、全市的な効果を検討して策定を行うことから、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 総合政策部 課名 秘書政策課 担当係長 赤坂秀樹 内線 211

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0417	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			9,936		9,936
財源内訳	国・県		8,979		8,979
	地方債				
	その他				
	一般財源		957		957

事業期間	単年度繰返	○ 期間限定	[平成 27 年度 ~ 平成 27 年度]
------	-------	--------	-----------------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

平成26年12月27日に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が定められ、併せて地域住民生活等緊急支援のための交付金（以下、交付金。）の取り扱いが示されたことにより、具体的な策定作業を進めるものである。

事業概要

1 人口動態、産業構造等に関する調査  
人口ビジョンと総合戦略の策定にあたり、人口構造、自然増減、社会増減に係る現状及び将来見通しにかかる調査、人口動態を踏まえた、当該市町村における産業構造及び雇用の現状及び将来見通しに係る調査を行う。

2 花巻市まち・ひと・しごと創生推進会議（仮称）の開催  
総合戦略の素案策定にあたり、広く関係者の意見が反映されるよう地元住民代表や有識者で構成する推進組織（産官学金労）を設置する。

3 市民説明会開催  
総合戦略（素案）及び人口ビジョン（素案）の策定後、市民への説明と意見聴取を行うため、説明会を開催する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・国の長期ビジョン・総合戦略を勘案し、また、県とは十分な意見交換や協議を行うとともに連携して策定する必要がある。  
・速やかに地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定の基本方針を明確にした上で、遅くとも平成27年度中には策定することとされている。  
・調査事業の内容、有識者会議の構成員、市民説明会で聴取した意見反映の手法等、事業毎に細やかな進行管理を行いながら進める必要がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◇総合戦略・人口ビジョン策定関連調査

（事業概要）

総合戦略及び人口ビジョンの策定に関連するデータを収集・整理するため、当市への移住の現状や、希望状況に関する意識、高校・専門学校・大学卒業後の地元就職率の動向、進路希望状況、結婚・出産・子育てについての意識等を調査する。

（事業費） 9,936千円

○総合戦略・人口ビジョン策定に係る補助業務委託事業費：8,360,280円

- ・地方人口ビジョン策定補助  
計画準備、人口の現状分析、人口の将来展望
- ・地方総合戦略策定補助  
講ずべき施策に関する基本的方向（案）検討補助  
具体的な施策の検討および需要業績評価指標（案）検討補助  
地方版総合戦略作成補助（初版、改訂版）
- ・住民意識調査実施状況

項目	期間	発送数	回収数	回収率
a) 結婚・出産・子育て				
独身者	H27.8.10～8.28	3,006	657	21.9%
有配偶者	H27.8.10～8.29	1,397	512	36.6%
b) Uターン等				
転入理由等	H27.8.10～8.31	1,195	373	31.2%
c) 進路希望				
高校生	H27.8.10～8.33		854	
大学生	H27.8.10～8.34		160	
d) 事業所				
事業所	H27.8.10～8.36	630	278	44.1%

- ・成果品  
地方人口ビジョン 100部  
地方創生総合戦略（初版） 20部  
地方創生総合戦略（改訂版） 100部  
地方創生総合戦略リーフレット 1,000部

○データ分析・利活用（総合戦略策定）職員研修業務委託：200,000円

- 第1部：データ活用の基礎知識の習得、統計分析の手法とその応用の理解、統計データと情報の活用の実践、データ活用の新潮流の理解 29名参加（WGメンバー）
- 第2部：RESASを用いた地域経済分析 10名参加（各種データ担当課）

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0417	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◇まち・ひと・しごと創生有識者会議等の開催 1,375,794円  
(事業概要)

総合戦略及び人口ビジョンの素案について、人口減少問題や地域活性化の取り組みについて専門的な研究を行っている大学教授や支援活動を行っている団体等からの有識者による会議を開催し、素案に対する提言や、データに基づく分析内容の活用等について意見聴取を行った。

また、政府が整備する地域経済分析システムで提供されるビッグデータの活用方法及び金融機関等の知見を学ぶ研修会を開催した。

①まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員17名 5回開催 謝礼496,000円  
人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案、案の審議

②まち・ひと・しごと創生推進本部会議 6回開催  
人口ビジョン、総合戦略の素案、案の審議及び進捗状況の報告  
※本部会の作業部会として各専門部会WGを設置

③市民等からの意見聴取  
各地地域協議会(自治推進委員会)へ素案、案を説明 各地区2回開催  
市民を対象にしたワークショップを開催 7回開催